

じょうたいけい  
S: 常体形。ただし、「Nだ Nな」「ANだ ANな」

基 本

例 文

① (つらそうな顔をしたBを見て)

A: どうしたんですか。

B: 歯が痛いんです。

② (夜中に台所で)

A: 何をしているんですか。

B: おなかがすいたんです。

③ A: 日曜日にいっしょに釣りに  
行きませんか。

B: どこへ行くんですか。

A: 富士山の近くの湖です。

④ A: もうすぐ帰国ですね。おみやげは、もう買いましたか。

B: ええ、買いました。

A: 何を買ったんですか。

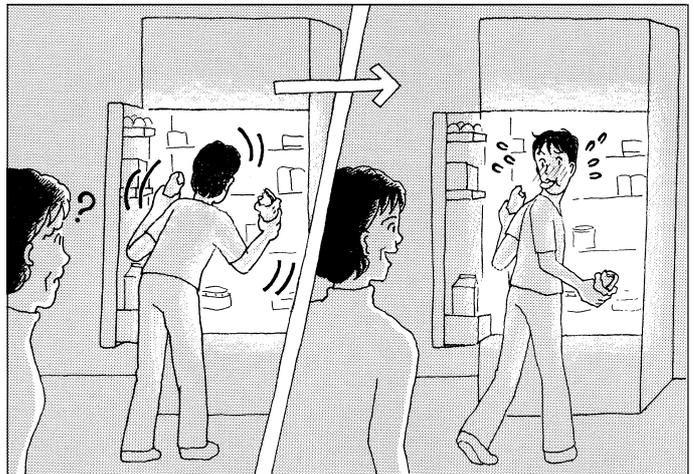
B: 浴衣です。

⑤ すみません、使い方がわからないんです。教えてくださいませんか。

⑥ 明日、友だちと買い物に行くんですが、いっしょに行きませんか。

⑦ 友だちにメールを送りたいんですが、パソコンを使ってもいいですか。

⑧ 切手を買いたいんですが、近くに郵便局がありますか。



例文②

- A. 事情<sup>じじょう</sup>をたずねたり、述べ<sup>の</sup>たりするとき<sup>つか</sup>に使う。(例文①②)
- B. さらに詳しく<sup>くわ</sup>たずねたり、述べ<sup>の</sup>たりするとき<sup>つか</sup>に使う。(例文③④)
- C. 依頼<sup>いらい</sup>や誘い<sup>さそ</sup>、許可<sup>きょか</sup>や情報<sup>じょうほう</sup>を求めるとき<sup>もと</sup>の前置き<sup>まえお</sup>に使う。(例文⑤～⑧)

### 先生へ

書きことばでは、「S<sup>か</sup>んです」ではなく「S<sup>つか</sup>のです」が使われることがある。

「んです<sup>ぶん</sup>」文と「です/ます<sup>ぶん</sup>」文の誤用が多いので、注意<sup>ちゅうい</sup>すること。

例1 日本<sup>にほん</sup>へ来た<sup>き</sup>のは初めて<sup>はじ</sup>です。事実<sup>じじつ</sup>を述べ<sup>の</sup>

日本<sup>にほん</sup>へ来た<sup>き</sup>のは初めて<sup>はじ</sup>でなんです。(だから、少し<sup>すこ</sup>心配<sup>しんぱい</sup>です。)

理由<sup>りゆう</sup>やいいわけ<sup>げんがい</sup>など言外<sup>いみ</sup>の意味<sup>ふく</sup>を含む

2 これも食べ<sup>た</sup>ますか。

するかし<sup>たん</sup>ないか単<sup>しつもん</sup>に質問<sup>する</sup>

これも食べ<sup>た</sup>るんですか。

話し手<sup>はな</sup>が得<sup>て</sup>た情報<sup>え</sup>や認識<sup>じょうほう</sup>と異なる<sup>にんしき</sup>ため確認<sup>こと</sup>する

#### 【関連項目】

- 活-05 常体形
- 文-01 Nです
- 文-03 Vます
- 文-06 Aいです / ANです
- 文-11 Vました
- 文-12 Aかったです / ANでした
- 文-13 Nでした

#### 【「れんしゅう編」の練習】

- 13-1 留学生の悩み相談
- 16-4 おまわりさんの交番日記
- 16-7 歌舞伎